

自己点検・評価シート

整理No.	2-(1)-②	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業	所属名 教育委員会事務局 中央図書館

1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる
	施策	2101	生涯学習の推進

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、おはなし会等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 中央図書館開館30周年記念事業を実施し利用促進のためのPRに努める。	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を新たに実施するとともに中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。 高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 読み聞かせボランティア養成講座 ブックスタート支援 講座、講演会 本のリサイクル市 視聴覚支援資料整備 ボランティアの受入 	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 読み聞かせボランティア養成講座 ブックスタート支援 講座、講演会 本のリサイクル市 視聴覚支援資料整備 ボランティアの受入 30周年記念式典及び記念講演会 	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 読み聞かせボランティア養成講座 ブックスタート支援 その他講座、講演会 本のリサイクル市 ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った 	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会 読み聞かせボランティア養成講座 ブックスタート支援 その他講座、講演会 読書通帳の配布 本のリサイクル市 ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った 		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,140	22,150	21,199	21,430	1,309	
	直接経費 A	1,013	1,595	839	830	1,309	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,013	1,595	877	830	1,309
人件費 B	20,127	20,555	20,360	20,600			
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00		
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	3.00		
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00		

4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	1 事業の概要
	<ol style="list-style-type: none"> 各図書館で毎週定期的に「おはなし会」を実施 絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施 保健センターが行なうブックスタート事業に協力 読書通帳の配布 とっとり市報への移動図書館車巡回日程の折込(年1回) 用瀬図書館開館25周年記念事業 など実施
	2 事業の成果
	<ol style="list-style-type: none"> 各種事業の開催により、子どもから大人まで多くの市民が図書館に来館し、事業を通して身近に感じること、図書館の利用促進を図るとともに、読み聞かせ、読書の推進を図った。 読み聞かせボランティア養成講座の開催により、講座に7割以上参加した人の内、90%がボランティア活動の実践につなげることができた。 読書通帳を配布したことで、市民が読書に興味を持つとともに、読書意欲の高揚を図った。

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・D * 目的に対する成果がわかりやすい指標に変更しました】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	おはなし会、各種講座の開催回数	回	目標	190	195				
				実績	279	280				
		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等開催回数								
		2	読み聞かせボランティア講座等受入人数	人	目標	430	440			
	実績				409	376				
	(指標の説明) 読み聞かせボランティア受入人数									
	3		おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標			4,500	4,550	4,800
		実績					4,866	4,780		
		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数								
		4	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標			50	69	80
	実績						68	89.7		
	(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	3	おはなし会、各種講座の開催回数	%			108%	105%	
	4	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%			136%	130%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習施設として、子どもの読書活動の推進を図るとともに、幼児から高齢者まで知識や教養を習得し、もって地域文化の発展に寄与する使命があるため。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、目標としていた参加人数を上回っているとともに、事業後のアンケートでも満足度が高いため。また、読み聞かせボランティア受講者が実践に結びついているため。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しており、地元の人材(ボランティア)を活用するなどしているため。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市立図書館3館が地域性を出しながら、各種講座、おはなし会等を実施している。幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開している。広報についても、市報をはじめケーブルテレビなども活用し、広く取り組んでいる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	豊かな市民生活を送るためには、さまざまな知識や情報を容易に入手し、課題を自ら判断し、生涯にわたって学んでいくことが必要。図書館を最大限活用していただくため、様々なテーマで学習の機会を提供するとともに、読書活動につながるきっかけづくりを工夫する必要がある。		
今後の課題・方向性	幼いころから読書習慣を身につけるとともに、図書館を利用しない市民をいかに引き付け、読書活動へとつなげていくかが課題。そのために、事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。		

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	文書を読み、知識・情報を得て、それを行動に生かすという技術の習得は現代社会で生きる上で必要不可欠である。その技術の基本にあるのは文を読み、理解する力である。読み聞かせなどの活動は地道ではあるが子どもに読書習慣を持たせるための第一歩として極めて重要である。今後はできるだけ多くの子どもに活動を広げていくことを期待する。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業への参加者数のみならず、講座修了後の参加者の活動の拡がりを意識して評価と改善が検討されている。事業効果との関係が強く認識されており、評価できる。
--------	--